議会だより

ふくしま

（題字：福島中学校　３年　小熊　徠華 さん）

第142号
令和６年６月１日発行
福島町議会

議員の目標・自己評価

議会ＨＰ

ここがききたい！
●一般質問（３月会議）　4 ページ

アワビ、高校、昆布、介護など
●常任委員会レポート　15 ページ

色んな声をありがとうございました！
●町民と議員との懇談会　28 ページ

ふくしま
３年　阿部　瑛太 さん

ふくしま
３年　石岡　龍聖 さん

ふくしま
３年　角谷　友翼 さん

ふくしま
３年　川本　玖季 さん

表紙画像：新潮学舎の生徒もゴミ拾いに参加（福島フォトサークル提供）

令和６年度予算を原案可決！

定例会３月会議は３月８日に開会、議案33件、諮問１件、同意１件、発委２件を審議し、いずれも原案通り可決、12日に休会しました。参画者は３名でした。

※予算審査の内容は予算審査特別委員会のページに掲載しています。

詳しい資料はこちら

町議会定例会

３月会議

条例の制定

2施設の管理条例を制定

有害鳥獣減容化処理施設（千軒地区）、水産種苗生産センター（日向地区）の効率的で適正な管理のため。

有害鳥獣減容化処理施設

水産種苗生産センター

条例の一部改正

国の法改正に伴う関係条例等の一部改正

- 指定居宅サービス等の事業人員、設備・運営基準等の関係条例
- 特定教育・保育施設・特定地域型保育事業の運営基準条例
- 空家等の適正管理条例
- 水道事業給水条例
- 水道敷設工事監督者配置基準・資格基準・水道技術管理者資格基準条例

職員の勤務時間、休暇等条例の一部改正

職員の年次休暇の付与単位を年度単位にするため。

会計年度任用職員の給与・費用弁償条例の一部改正

会計年度任用職員へ勤勉手当を支給するため。

職員の育児休業等条例の一部改正

育児休業中の職員へ勤勉手当を支給するため。

ふるさと暮らし応援条例の一部改正

奨励金などの返還について、具体的な事情を明確にするため。

チャレンジスピリット応援条例の一部改正

起業者が不利益なく制度を活用できるようにするため。

温泉健康保養センター条例の一部改正

新しい温泉が完成し、所在地番が変更となるため。

国民健康保険税条例の一部改正

令和６年度の税率改正・国の法改正に伴い、保険税率・課税限度額・軽減判定所得の改正、軽減額の明記方法が変更となるため。

介護保険条例の一部改正

第９期介護保険事業計画の決定、国の法改正に対応するため。

計画決定

第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

現計画の終了にあわせ、両計画を一体として次期3年間の計画を策定。

計画変更

第6次総合計画の変更

事業の追加や変更により、計画の一部を変更（高校魅力化推進事業等）。

単位：千円

区　分	総事業費
変更前	7,889,200
追　加	24,300
変　更	148,000
変更後	8,061,500

森林整備計画の変更

渡島檜山地域森林計画変更計画が公表されたため、町の森林計画を適合するよう変更。

補正予算

一般会計・特別会計

不用となった予算の減額等を行い、次の通り補正。

単位：千円

会　計　名	補正額	補正後
一般会計（第10号）	▲176,217	5,651,111
国民健康保険特別会計（第５号）	▲118,784	650,702
介護保険特別会計保険事業勘定（第４号）	▲23,852	560,797
後期高齢者医療特別会計（第２号）	▲266	73,914
浄化槽整備特別会計（第２号）	▲6,570	51,441
国民健康保険診療所特別会計（第４号）	▲3,438	109,244
水道事業会計－収益的支出－（第３号）	▲4,094	110,909
水道事業会計-資本的支出-（第３号）	▲19,297	97,966

同意・諮問

固定資産評価審査委員の選任

岡観要氏の選任に同意しました。

人権擁護委員の推薦

川合正子氏の推薦を適任としました。

積立金の処分

財政調整基金積立金の処分

令和6年度一般会計予算の財源として繰入支消する基金の限度額を4億円以内としました。

議会からの提出議案

町長の専決処分事項指定条例の一部改正

町長の専決処分事項に4項目を追加。

◎**追加事項**

①災害等による応急的な維持補修等の予算補正

②民事訴訟法に規定する支払い督促の申し立てにかかる訴えの提起、和解、調停

③条例の主旨を変更しない範囲の法律等の改正による引用条項などの整備

④条例の主旨を変更しない範囲の字句の修正

意見書の提出

● 生涯を通じた歯科検診の実現を求める意見書

議員が聞きました
町の“いま”と“これから”

一般質問

３月会議では４人の議員から５件の質問がありました。

【一般質問】町の色々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。

動画はこちら

福祉

問 介護事業所への支援と、介護従事者の確保を

答 資格取得費用や外国人従事者雇用時の助成を行っています

熊野 茂夫議員

これまで、福祉法人と民間の訪問介護事業所で当町の介護サービス事業を展開してきましたが、利用者の減少やニーズの変化で経常収支悪化の懸念や介護従事者の確保も厳しい状況にあります。

介護事業所継続のための支援と、特に**介護従事者確保のための施策は急がれると思いますが**、町長の考えをお伺いいたします。

鳴海町長

社会福祉法人に対する補助金増額や車両購入に係る補助金の新設など、社会福祉協議会の経営安定化に向けた支援を行っております。陽光園には、施設の大規模改修に対する補助金など、**基礎的な経営基盤安定に重点を置いて支援**しております。

介護関連資格取得費用や外国人従事者を雇用した場合の助成も行っております。

動画はこちら

防災

問 避難路の管理状況と新たな避難路の整備は

答 地域の実情を調査し、津波対策に取り組みます

藤山 大議員

町民と議員との懇談会では災害に対して危機感や不安を抱いている意見が多くありました。

避難路の整備について、町長および教育長に伺います。

【町長】

①避難路の**管理状況**は

②**一人では動けない方**の避難対策は

③**新たな避難路**の整備

④津波を防ぐ**ブロックの設置**は

【教育長】

❶幼稚園、小学校、中学校、高校の**避難訓練実施状況、　避難経路**は

鳴海町長

①**春と秋に草刈り**実施。

②１人で避難できない方は、**地域住民による安否確認や避難支援等が重要**です。

③新たな避難路整備は、**様々な対策の検討が必要**と認識しています。

④**引き続き道に対し要請**を行っていきます。

小野寺教育長

❶実施状況は幼稚園、各学校とも**年２回**。避難先は次のとおりです。

幼稚園：月崎ニュータウン広場、福島小学校：総合体育館・福祉センター、福島中学校：校舎3階、吉岡小学校：メモリアルパーク、高校：校舎屋上。

動画はこちら

第二青函

問 青函トンネル補修工事の状況把握は

答 工事着手前に説明を受け把握している

小鹿 昭義議員

青函トンネルは、重要な役割を担っており、維持補修を徹底しなければなりません。

工事関係者の当町に及ぼす経済効果も大きく、「第二青函トンネル実現」の気運を盛り上げる活動に連動させる観点からも、現状をしっかり把握しておくべきと考えております。

青函トンネルの現状、維持補修状況などについて、どのような情報を共有されているかお伺いいたします。

鳴海町長

工事の概況は、鉄道運輸機構より、補修工事着手前に説明を受け、把握しています。

先進導坑、作業坑等のトンネルの一部において変状が確認され、補修工事を行っております。

北海道新幹線札幌開業にあたり、第２青函トンネルの必要性・重要性は益々高まっていくと考えていますので、引き続き、気運の醸成に向けた活動を展開してまいります。

動画はこちら

産業

問 今後の養殖コンブ業について

答 各機関と連携し、早期に対策を講じる必要があると認識している

平沼 昌平議員

気候変動により海水温が上昇し、天然真昆布が減少する中、安定した生産を支えるのが養殖コンブですが、**海水温の上昇は養殖昆布にも影響が出ているのではないかと心配しております。**気候変動と海水温上昇は急激に改善することはなく、簡単に改善されるものではありません。

種苗施設も完成し**安定生産を進めるにあたって、陸上での養殖・海水温にあった海上での新たな養殖産品を見出す事も必要と考える**がお考えを伺いたい。

鳴海町長

近年の高水温が昆布養殖に与える影響を懸念していますが、生産者等からは現時点で大きな影響は出ていないと伺っています。

養殖昆布へのヒドロゾア（毛）付着の対応として、昨年から収穫時期を早めるなどの対策を行っています。今後、包括連携を締結している各大学や研究機関と連携を図り、早期に対策を講ずる必要があると認識しております。

新たな養殖産品は、現状では厳しい状況ですが、生産者や漁協と話し合いながら、必要に応じて可能性を模索したいと考えています。

※平沼議員からは、１日目に「石川県能登半島地震を受けて当町の防災対策は」という質問がありました。

動画はこちら

令和6年度 予算審査特別委員会

委員長　平野　隆雄

3月11日から12日の2日間にわたって令和6年度会計の予算審査特別委員会が行われ、4つの特別会計・浄化槽事業会計・水道事業会計を含む総額58億6千300万円の予算議案を可決しました。

※金額は四捨五入表示。

※質疑・応答は、第6次総合計画のまちづくり項目の順番で要約し、抜粋を掲載しています。

詳しい資料はこちら

産業を活性化し、地域資源を活かすまちづくり

●観光業の振興

問　横綱の里づくり事業費が、前年に比べて約135万円も増加している。増加した理由は。

（杉村議員）

答　来町する力士の人数が増えたため。親方、床山、力士を含めて21名の予算で計算している。

次世代を育成し、つながり、学びあうまちづくり

●教育環境の充実

問　当町には3つの奨学金制度がある。町自身の奨学金制度で町外から入学した子供たちに対しても対応できるような整理をしては。

（熊野議員）

答　町として子供達を応援する制度は必要と考えている。新たに必要なものについては、町の制度を設けた方が良いと考えている。

問　全国募集の目玉として青少年交流センターを建設したが、今後入所定員を上回る入学希望者への対応と、地域との交流を図るため下宿の整備も必要ではないか。

（平沼議員）

答　受入家庭があるのか、もしあれば、条件はどうかなど、高校の教育振興会、OB会などと話し合いながら、今後模索していきたい。

福祉・医療が充実し、互いを認め合えるまちづくり

●高齢者福祉の充実

問　デイサービスの改修期間は。また、事業ができない期間はあるのか。

（木村議員）

答　改修期間は7月から10月を予定。施設の特養スペースを活用し、事業は休まず実施する。

●健康増進と保険・医療の充実

問 医療費の削減には検診を通した意識付けが重要と考えるがどういった取り組みを考えているか。

（熊野議員）

答 町内で受けられる検診も多くあるため、皆で声掛けをしながら受けやすい体制を作っていく。色々な機会を通じながら、地域に足を運んで1人でも2人でも拾っていくことが我々の使命だと思っている。

やまゆりクリニック

問 やまゆりクリニックの医薬品について今後も院内で処方するのか民間への委託の考えはあるのか。

（藤山議員）

答 現段階では、院内で処方する方針を変更する予定はない。

生活基盤が安定し、安心安全に暮らせるまちづくり

●防災・消防体制の充実

問 日本海溝・千島海溝型地震津波避難対策緊急事業計画の策定にあたっては、どのような視点で、業者委託するのか。

（平沼議員）

答 令和6年度は、既存の津波避難施設の現況把握として、避難場所や避難ルート、現時点の現況把握、地域や町内会単位での避難対象エリア、避難対象人口、避難困難者等の基礎調査を予定。

●環境衛生の充実

問 不法投棄の現状と町で行っている「空き缶ゼロの日」の町民参加状況は。

（佐藤議員）

答 令和5年度は不法投棄の摘発はないが、町民からゴミが捨てられていると連絡を受け処分したケースはある。「空き缶ゼロの日」の町民参加状況について、参加人数は把握していないが、収集作業時に各地区で参加している様子を確認している。

7班編成で拡大清掃した三岳1町内会

一人ひとりが協働し、持続可能なまちづくり

●行財政運営の推進

問 温泉利用料金の変更は考えていないか。

（平沼議員）

答 料金変更は考えていない。この施設は健康増進のためにあるので新しい施設をより多く利用してもらいたい。

新しい吉岡温泉に訪れた町民

令和６年度　各会計予算総額

単位：千円

会計名			令和６年度	令和５年度	増減	増減率（%）
一般会計			4,125,128	5,193,612	▲1,068,484	▲20.57
特別会計	国民健康保険特別会計		682,918	724,178	▲41,260	▲5.70
	介護保険特別会計	保険事業勘定	563,702	549,050	14,652	2.67
		サービス事業勘定	1,625	1,563	62	3.97
	後期高齢者医療特別会計		82,055	75,266	6,789	9.02
	国民健康保険診療所特別会計		122,497	111,112	11,385	10.25
水道事業会計			214,048	227,832	▲13,784	▲6.05
浄化槽事業会計			71,298	58,012	13,286	22.90
予算総額			5,863,271	6,940,625	▲1,077,354	▲15.52

※浄化槽整備特別会計は令和６年度から浄化槽事業会計に移行しました

令和６年度　議会費の使い道

前年度より825千円の増額

単位：千円

区分	令和６年度	令和５年度	概要
報酬	25,942	23,771	議員歳費、諮問会議委員報酬
給料	13,425	13,206	事務局職員４名分（うち会計年度任用職員１名）
手当等	14,083	16,978	議員・事務局職員の期末手当
共済費	16,667	13,897	議員・職員共済費
報償費	100	100	専門的知見謝金（審査・調査）
旅費	1,864	2,117	議員・事務局の出張に係る旅費ほか
交際費	200	200	慶弔費ほか
需用費	1,321	1,306	議会だより印刷製本費、消耗品費ほか
使用料・賃借料	1,230	1,271	ペーパーレス会議システム使用料ほか
負担金・交付金	1,763	1,843	各加入団体負担金、政務活動費ほか
償還金・利子	0	1,081	備考資金組合償還金（議会中継システム更新）
合計	76,595	75,770	＊　町予算書では、事務局職員４名分の給料等が、「職員・会計年度任用職員給与費」に計上されているため、この表の予算額と一致しません。

町議会定例会
2月会議

詳しい資料はこちら

第６次総合計画を可決
計画期間：令和６年度～13年度
（前期計画期間：令和６年度～８年間）

定例会２月会議は２月14日に開会、議案９件を審議し、いずれも原案通り可決、同日付けで休会しました。参画者は２名でした。

条例の一部改正

手数料徴収条例の一部改正

戸籍法の一部改正により、戸籍謄本等の電子化に対応した文言の修正や、戸籍電子証明書提供用識別符号の発行手数料を追加。

○戸籍電子証明書提供用識別符号　１件　400円
○除籍電子証明書提供用識別符号　１件　700円

計画の策定

第６次総合計画の策定

第５次総合計画の終了に伴い、次期計画となる第６次総合計画を策定。

計画期間：令和６年度～令和13年度までの８年間

工事契約の議決更正

種苗生産等施設工事請負契約
・建築、電気、機械工事

埋設物の増、昆布水槽用照明タイマー制御・水槽補強等による工事費の変更。

１千557万円増

種苗生産等施設工事請負契約
・建築、電気、機械工事

手すり追加、屋内照明増設、資材高騰等による工事費の変更。

８千900万円増

工事中の新しい吉岡温泉

補正予算

令和５年度一般会計補正予算（第９号）

● 低所得者世帯支援給付金（住民税均等割世帯）給付事業費

住民税が均等割のみ課税となっている世帯に、一世帯当たり10万円を支給するため

１千845万円

● 高校魅力化推進事業費

青少年交流センター増築に関する建築実施設計委託のため

１千350万円

● 冷房設備設置事業費

冷房設備設置に関する電気設備工事のため

福祉センター　２千760万円
小学校　181万円
中学校　858万円

町議会定例会 3月第2回会議

詳しい資料はこちら

5,000万円の企業版ふるさと納税

定例会３月第２回会議は３月28日に開会、議案３件を審議し、いずれも原案通り可決、同日付けで休会しました。参画者は２名でした。

工事契約の議決

改良住宅解体工事請負契約の締結

解体発生材の数量等が確定したことにより、工事費に変更が生じ、契約金額が５千万円を超えたため。

補正予算

令和５年度一般会計補正予算（第11号）

● **ふるさと応援基金費**
企業版ふるさと納税増額のため　５千万円

● **財政調整基金繰入金**
町立診療所特別会計繰出金減額のため　▲379万９千円

町議会定例会 4月会議

詳しい資料はこちら

青少年交流センター増築費用3億850万円

定例会４月会議は４月26日に開会、議案３件を審議し、いずれも原案通り可決、同日付けで休会しました。参画者は２名でした。

条例の一部改正

町税条例の一部改正

能登半島地震災害被害者の負担軽減を目的とした地方税法の一部改正及び「令和６年度税制改革大綱」により個人住民税の定額減税、住宅ローン控除の対象を拡大するなど条例を一部改正。

補正予算

令和６年度一般会計補正予算（第１号）

● **熊等による被害対策費**
有害鳥獣駆除員（会計年度任用職員１名）採用のため　443万１千円

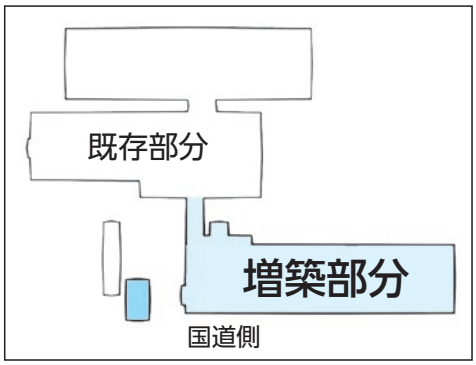
● **高校魅力化推進事業費**
青少年交流センター増築工事のため　３億850万円

青少年交流センターゼロカーボン・モビリティ導入事業費

青少年交流センター太陽光発電設備設置工事・電気自動車導入のため　４千720万円

令和６年度国民健康保険会計補正予算（第１号）

● **一般管理費**
国民健康保険証とマイナンバーカードの一体化に伴い、資格確認証を発行するシステム改修のため　346万５千円



青少年交流センター増築部分

各議案の審議結果

3月会議採決の様子

・賛成が○、反対は×、病欠は△、欠席は欠と表示しています。
・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案 ＼ 議員名	藤山大	杉村志朗	佐藤孝男	小鹿昭義	平沼昌平	木村隆	熊野茂夫	平野隆雄	審査結果
2月会議（2/14）	53	手数料徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	54	第６次総合計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	55	種苗生産等施設建築主体工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	56	〃　電気設備工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	57	〃　機械設備工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	58	吉岡温泉建設工事建築主体工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	59	〃　電気設備工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	60	〃　機械設備工事請負契約の議決更正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	61	令和５年度一般会計補正予算（第９号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月会議（3/8）	62	有害鳥獣減容化処理施設管理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	63	水産種苗生産センター管理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
	64	指定居宅サービス等事業の人員・設備・運営基準等の一部改正省令施行関係条例の整理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
	65	職員の勤務時間、休暇等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	68	ふるさと暮らし応援条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	69	チャレンジスピリット応援条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	70	特定教育・保育施設・特定地域型保育事業の運営基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	71	温泉健康保養センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	74	空家等適正管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	75	水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	76	水道布設工事監督者配置・資格基準、水道技術管理者資格基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	78	森林整備計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	88	令和５年度一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	89	令和５年度国民健康保険特別会計補正予算（第５号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	90	令和５年度介護保険特別会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	91	令和５年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	92	令和５年度浄化槽整備特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	93	令和５年度国保診療所特別会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	94	令和５年度水道事業会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月会議（3/12）	77	第６次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	79	第９期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の決定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	66	会計年度任用職員の給与・費用弁償条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	

会議名	議案番号	議案 ＼ 議員名	藤山大	杉村志朗	佐藤孝男	小鹿昭義	平沼昌平	木村隆	熊野茂夫	平野隆雄	審査結果
3月会議（3/12）	67	職員の育児休業等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	72	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	73	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	87	財政調整基金積立金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	
	80	令和６年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	81	令和６年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	82	令和６年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	83	令和６年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	84	令和６年度国保診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	85	令和６年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	86	令和６年度浄化槽事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	同意3	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
	諮問2	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	原案適任
	11	町長の専決処分事項指定条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	12	生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月第2回会議（3/28）	95	改良住宅解体工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	96	令和５年度一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	97	令和５年度国保診療所特別会計補正予算（第５号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
4月会議（4/26）	1	町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	2	令和６年度一般会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	令和６年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	

会議配信や過去の会議資料をご覧いただけます！

議会ＨＰにて**各会議の生配信**や、**過去の会議資料・映像**をご覧いただけます。なお、議会だよりのＱＲコードをスマホ等で読み取り、ＨＰの関係ページをご覧いただく事もできます。ご意見、ご感想もお待ちしておりますので、議会事務局議事係までお気軽にご連絡ください。

※ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

議会ＨＰへのＱＲコード

：https://www.town.fukushima.hokkaido.jp/gikai/
：gikai@town.fukushima.hokkaido.jp　☎0139－47－2215

議会事務局の人事異動

令和６年３月31日付け

● **町部局へ出向**

（議事係長）福井　理央
→企画課：企画係長・広報広聴係長

令和６年４月１日付け

● **町長部局より出向**

議事係係長　山下　貴義
（教育委員会：生涯学習担当次長・生涯学習係長）

令和６年度の事務局体制

事務局長　鍋谷　浩行
議事係長　山下　貴義
議事係　角谷　里紗
会計年度任用職員　熊谷　治子

会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の１月24日から５月17日までの出席状況をお知らせします。
「○」は出席、「×」は欠席、「―」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年月日	会議・行事名	藤山	杉村	佐藤	小鹿	平沼	木村	熊野	平野	溝部
１月24日	経済福祉常任委員会(アワビ陸上養殖事業進捗状況、漁港海岸環境施設（横綱ビーチ）管理)	◎	―	○	○	○	―	―	○	○
25日	渡島町村議会議長会定期総会	○	―	○	○	○	―	○	○	○
26日	建設協会新年交礼会	○	―	○	○	○	―	○	○	○
29日	渡島廃棄物処理広域連合議会定例会	―	―	―	―	○	―	―	○	―
31日	総務教育常任委員会(部活動の地域移行取組み状況、福島商業高校の魅力化)	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	○
２月２日	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
３日	函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会設立記念シンポジウム	○	―	―	―	○	―	○	―	○
５日	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
６日	経済福祉常任委員会（岩部地区等活性化基本構想、昆布養殖作業省力化検討計画）	◎	―	○	○	○	―	◎	○	○
	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
７日	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
８日	渡島西部四町議員協議会総会・研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
９日	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10日	鈴木道知事懇談会	―	―	―	○	○	―	―	―	○
11日	おおさか誠二新春の集い	―	―	―	―	―	―	―	―	○
13日	町民と議員との懇談会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14日	議会運営委員会	○	―	○	―	○	○	○	職	職
	定例会２月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	―	○	―	○	○	○	職	職
	総務教育常任委員会（福島松前間防災道路、定住促進住宅整備事業）	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	○
16日	経済福祉常任委員会（第９期介護保険事業計画）	―	―	○	○	○	―	―	○	○
21日	福島町スポーツ・文化賞表彰式	○	―	○	○	―	○	―	―	○
29日	渡島西部広域事務組合第１回定例会	―	―	○	―	―	○	―	―	○
３月１日	高校卒業式	○	―	○	○	○	○	○	―	○
１日	一般質問通告日	○	―	―	○	○	―	○	―	職
１日	議会運営委員会	○	―	○	―	○	○	○	職	職
４日	議員勉強会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
８日	定例会３月会議（夜間議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11日	定例会３月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算審査特別委員会	△	○	○	○	○	○	○	○	職
12日	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	職
	定例会３月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	―	○	―	○	○	○	職	職

年月日	会議・行事名	藤山	杉村	佐藤	小鹿	平沼	木村	熊野	平野	溝部
15日	中学校卒業式	○	—	○	○	—	○	○	○	○
18日	福島小学校卒業式	○	—	○	○	—	○	○	○	○
22日	幼稚園保育証書授与式	○	—	○	—	—	—	—	○	○
25日	種苗センター竣工式	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26日	保育所卒園式	○	—	○	—	—	—	—	○	○
27日	渡島町村議長会役員会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
28日	議会運営委員会	○	—	○	—	○	○	○	職	職
	定例会３月第２回会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29日	福島吉岡漁業協同組合定期総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
30日	おおさか誠二陽春の集い	—	○	—	—	○	—	—	—	○
４月５日	観光協会通常総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	保育所入園式	—	—	○	○	—	—	—	○	○
８日	吉岡小学校入学式	—	—	—	—	○	○	—	—	—
	福島小学校入学式	○	—	○	○	—	—	○	○	○
	中学校入学式	○	—	○	○	○	○	○	○	○
	高校入学式	○	—	○	○	○	○	○	○	○
	交通安全祈願祭・町民大会	—	—	—	—	○	—	○	—	○
９日	森づくり協議会	—	—	○	—	—	—	—	—	—
10日	道南林活役員会	—	—	×	—	—	—	○	—	—
	幼稚園入園式	—	○	—	—	—	—	—	—	○
11日	有害鳥獣滅容化処理施設竣工式	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	総務教育常任委員会（青少年交流センター増築）	○	○	◎	—	—	○	○	○	○
18日	林野火災予防対策協議会	—	—	○	—	—	—	—	—	○
19日	吉岡温泉竣工式	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20日	長谷川岳政経セミナー	—	—	—	—	—	—	—	—	○
21日	北海道福島会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
24日	道南林活総会・研修会	○	—	○	—	—	—	○	—	—
26日	議会運営委員会（議会評価、４月会議運営）	○	—	○	—	○	○	○	職	職
	定例会４月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
５月９日	渡島総合開発期成会役員会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	渡島町村議会議長会臨時総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
13日	議会運営委員会	○	—	○	—	○	○	○	職	職
	定例会５月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	渡島西部広域事務組合議会第１回臨時会	—	—	○	—	—	○	—	—	○
	第１回議会諮問会議	—	—	—	—	○	—	—	○	○
16日	渡島西部四町議会議員協議会理事会	—	—	—	—	○	—	—	○	○
17日	議会運営委員会（議会だより）	○	—	○	—	○	○	○	職	職

経済福祉常任委員会レポート

議会HP

調査事件15 福島漁港海岸環境施設（横綱ビーチ）の管理

－１月24日調査－

監視体制を改善し安全対策を万全に

ビーチの監視体制について

前回指摘した内容のうち**水域清掃、海浜調整等の施設維持について対応・改善されたことは評価します。**

しかし、**監視体制は前回指摘した救急救命講習受講の対応が改善されていません。**受講経験者が２名しかいない状況は、不測の事態に対応できるのか心配されます。講習は毎年受講するべきもので、次年度の業務委託では、従事者へ独自の救急救命講習を実施するか、町民プールで開催される日赤による救急救命講習の受講を約束させる等の対策を検討してください。

監視員が高齢化している現状は一定の理解をしますが、**事故等へ対処する監視体制の維持は管理者の責務です。**特に利用者が多い土日の体制を万全にするためには、高校生や消防署等に協力を依頼する方法も考えられますので検討してください。

調査事件13 アワビ陸上養殖事業の進捗状況

－１月24日調査－

事業を継続していくため安定した生産体制が必要

安定した生産のため対策を

岩手県の民間業者から購入する種苗は、サイズが今までより大きい（30ミリ）など、これまでのデータが通用しないことも想定されます。**種苗の斃死（へいし）率を抑えるためにも関係機関等と連携し、慎重な対応（エサやり・管理方法等）**を望みます。

町養殖施設でも、栽培公社の病気発生要因、種苗の成長不調要因について分析し、**安定的な生産体制を確保するために必要な対策を検討してください。**

※斃死（へいし）…動物等が突然死ぬこと

事業継続のため販売価格検討を

今回の対応で事業費が増加しても販売価格を上げない、という町の考えについて一連の事業効果は評価しますが、**今後も事業を継続していくためには費用増加分を販売価格へ転嫁することも考慮するべき**で、町の事業遂行には、事業の実質収支を明確に示し情報共有することも重要であると考えます。

総務教育常任委員会レポート

議会HP

調査事件5 福島商業高等学校の魅力化

－１月31日調査－

町の魅力が伝わる受け入れ体制が必要

太陽光パネルは雪や重量対策を

新潮学舎の増築に合わせて太陽光発電等の導入を計画していますが、**冬期の発電効率低下や堆雪による建物への重量負荷などトラブル発生が心配**されるため、関係課や設計業者と十分協議・検討を行い、効果が発揮されるよう努めてください。

町全体での受入体制づくりを

新潮学舎の増築にあたり、財源確保のため過疎債の対象となる定住促進住宅整備事業とすることは理解しましたが、定住促進住宅として運用していくには町としても**町外から来た生徒たちが福島町に魅力を感じられる地域教育を関係機関と協力して組み立てる必要があります。**町・教育委員会と地元企業等が状況を共有、協力しながら受け入れ体制づくりについて積極的に検討してください。

※過疎債…人口減少が著しい地域（自治体）が活用できる借入金（町の借金）で、借入額の70％が交付税として算定（収入）となるため、町の財政にかかる負担が軽くなる。

調査事件3 部活動の地域移行への取り組み状況

－１月31日調査－

渡島西部四町での連携で体制づくりを

外部指導者確保に向けて

教職員の負担軽減を図るためにも、**外部指導者の活用を検討すべき**と考えます。団体を対象としたアンケート調査では、指導者として協力することは厳しいという結果ですが、**団体に所属していない経験者もいます。**また、**幅広く協力者を募集し、体制を整えることを考慮し、対象を町内に限定せず西部四町の枠組みで探す**ことで外部指導者確保の可能性が拡がると考えられますので、検討してください。

子供たちの希望が叶う環境

希望する種目があっても、賛同する生徒が少なく実施できない場合も考えられるため、**近隣町で連携し情報共有を図りながら、子供たちの希望に沿ったスポーツ環境が提供できるような体制づくり**についても積極的に検討することを期待します。

経済福祉常任委員会レポート

議会HP

調査事件14 昆布養殖作業省力化検討計画

－２月６日調査－

積極的な情報収集と問題意識の共有が必要

昆布養殖作業省力化検討計画の策定について

計画を策定する前提として、**昆布養殖の現状を正確に把握するためのデータ**（廃業した件数、新規着業の件数、就業者数等）**収集について、十分でないことが懸念されます。**実態を適切に把握した上で策定業務を進めるよう努めてください。

省力化の方策として地上作業の共同化を挙げていますが、**共同化が難しい要因として、昆布養殖漁家が複数の部会に分散し、独自のルールで作業するなど協調性が低いことが心配**されます。委託業者から省力化・共同化の必要性・効果について昆布養殖漁家・漁業協同組合へ説明し、問題意識を共有することで部会の統一を促す必要があると考えますので検討してください。

作業省力化の妨げとなっている「毛（ヒドロゾア）」の対策は、水産試験場や研究機関の成果等の情報を積極的に収集し早急に検討してください。

調査事件12 岩部地区等活性化基本構想の策定

－２月６日調査－

地区住民の理解、各団体との連携が必須

岩部地区の活性化について

基本構想案の岩部地区鳥瞰図（ちょうかんず）では、河川を活用した水辺、岩部展望公園、キャンプサイトなどの整備が挙げられていますが、**同地区はシカやクマ等の出没が想定されるため利用者の安全対策が必須**であり、専門家等から意見を十分聴取し整備されるよう望みます。

岩部クルーズについて

年々運行状況も上昇傾向にあり、岩部地区活性化の中心的な事業ですが、**出航率が45％と予約者の半数は乗船できない状況が続いています。**より多くの方に体験してもらうための実施期間延長や、１日の運行ダイヤの見直しが必須であり、安全面に十分注意しながら検討してください。

総務教育常任委員会レポート

議会HP

調査事件7 定住促進住宅整備事業

－２月14日調査－

深堀りした調査・分析を

ニーズ調査について

現在の住宅に満足していない世帯が一定数いる一方、満足している世帯も居ることや、賃貸方式の住宅を「希望しない」世帯が「希望する」世帯を上回るなど、**事業を進めて行くためには、より深掘りした調査の実施・分析が必要**と考えますので検討してください。

家賃の設定等について

新栄町に整備している定住向け町有住宅と同様に**民間の家賃相場を参考に決定するとのことですが**、定住向け住宅の整備主旨に逆行することがないよう、**入居要件・家賃の設定には、十分配慮し慎重に検討してください。**

今後の建設計画について

令和６年度から隔年で１棟ずつ予定し、その都度設計を行うとのことですが、**毎回設計を行うのは非効率的であり、経費節減を強く意識して進める必要があると考えます**ので検討してください。

調査事件6 福島松前間防災道路実現に向けた取り組み

－２月14日調査－

引き続き要望活動が必要

早期完成に向けた要望活動を

測量調査等が開始されたことは大きな一歩ですが、引き続き渡島西部四町の共通理解・協力を得ながら**早期完成に向け要望活動を強力に推進する必要がある**と考えます。

測量調査の結果やルート等の方向性を決定する経緯については、**町民に対して説明会を開催し、町民の理解を得ながら進めるよう望みます。**

国・道への要望と合わせて、**現道（白神～松浦間）の今後の位置づけについて、十分協議する必要がある**と考えますので検討してください。

松前半島道路全体の整備要望

高規格道路としての松前半島道路の整備は、第２青函トンネル構想においても自動車運行の接続道路として必須であるとしています。

松前半島道路全体の整備要望は、第２青函トンネル構想の推進と連動させ、双方の必要性を北海道に積極的に周知、要望されるよう望みます。

調査事件1 福島商業高等学校の魅力化

－４月17日調査－

青少年交流センター増築と学生の支援を

定住促進住宅としての運用

年17名の受入計画となっており、入学生と移住定住希望者の優先度や目標値を超えた場合の受入対応について検討が必要と考えます。

これからのＰＲ活動

全国で同様の取り組みを始めている学校が増えてきており、これからも福島町を選んでもらえるよう、さらなるＰＲが必要と考えます。

冬のレクリエーション

年間を通して魅力ある福島町をＰＲするためにも冬のレクリエーションの場が必要と考えます。

※レクリエーション…自由時間に行う娯楽

学生への支援

利用者が26名となり、様々な課題も想定されます。子供達の自主性を尊重しながら安心して生活できる体制づくりに努めてください。

卒業後の進路も福島町の子供達と同様に支援する姿勢が重要であり、町に愛着を持つ人材を育成し、定住する手立てを早急に検討すべきと考えます。

調査事件11 第９期介護保険事業計画の策定

－２月16日調査－

分かりやすい情報周知と、将来を見据えた体制整備を

肺炎球菌、帯状疱疹予防接種の助成

帯状疱疹予防接種は初めての助成となりますが、高齢者からの要望が多く寄せられていることから、速やかな助成を望みます。

周知の際は理解しやすい工夫を検討してください。

介護予防の推進

独居や老々介護、親族が町外に居住している場合が多く、介護申請に至る前に高齢者の状況を把握するための体制づくりが必要と考えます。

「医療」を担う町立診療所が重要な役割を担うと考えられるので、より一層「介護」と「医療」の連携を密にした体制作りを望みます。

広域的な連携

人口減少が続き被保険者数がピークを越え、単町で施設を整備・維持していくことがより困難になることは明白です。渡島西部四町の課題として「施設の集約」「役割分担」等、介護事業の広域連携について検討すべきと考えます。

評価概要 「議員活動の自己評価」

令和５年度分（令和５年４月～令和６年３月）

議会HP

平成17年から始めた議員の自己評価は、今回で19回目となります。５つの主な指針をもとに具体的に取り組んだ事項を「取組の評価」と「成果の評価」としてそれぞれ３段階で自己評価します。

評価の集計結果は下表のとおりで、取組と成果に大きな差があります。

各議員の取組が成果として反映されるように努力する必要があります。

議員個人としての活動については、２名の議員から報告がありました。

● 自己評価の指針

主要指針	評価の指針等
1．態　　度	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度、審議の態度。
2．監　　視	一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで行政執行をチェックしたか。
3．政策提言	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで政策提言をしたか。
4．政策実現	一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5．自治活動 議会改革	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度、町民ニーズの把握はどうか。

※議会での態度：居眠り・私語など、審議の態度：品位の保持、審議への協力、討議：発言

● 議員別の評価集計

議員名	藤山　大		杉村志朗	
項目	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	5	4	9	4
△ 努力が必要	13	11	1	6
▲ さらに努力が必要	0	3	1	1
計	18	18	11	11

議員名	佐藤孝男		小鹿昭義	
項目	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	7	4	4	0
△ 努力が必要	7	6	12	13
▲ さらに努力が必要	0	4	0	3
計	14	14	16	16

議員名	平沼昌平		木村　隆		熊野茂夫	
項目	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	4	0	7	4	4	4
△ 努力が必要	6	8	2	5	0	0
▲ さらに努力が必要	4	6	0	0	0	0
計	14	14	9	9	4	4

議員名	平野隆雄		溝部幸臣		合計	
項目	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	21	2	7	3	68	25
△ 努力が必要	2	17	12	8	55	74
▲ さらに努力が必要	0	4	15	23	20	44
計	23	23	34	34	143	143

● 議員個人としての活動

	藤山　大	溝部幸基
報告会等の実施	1	3
議員だよりの発行	―	―
個人ホームページの開設	―	○
その他（ＳＮＳ活用等）	○	―

教えて！

ぎかいのコトバ

議員活動の目標（公約）って？

議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議員活動の目標（公約）として公表しています。

今年度は、９名の議員で総数項目152項目（昨年度：９名提出137項目）となりました。

＊　個人票はＰ25～Ｐ27に掲載しています。

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○=「ほぼ満足」　△=「努力が必要」
▲=「さらに努力が必要」
評 価 期 間：令和５年４月～令和
※熊野議員は令和５年９月～令和６年３月

藤　山　　大

49歳　議員歴11年　19項目

分野	具体的な項目	評価 取組	評価 成果
行政	第２青函トンネル構想推進	△	△
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	△	△
財政	優先順位を持った財政運営の推進	○	○
	町立診療所健全経営推進	△	▲
経済	一次産業のさらなる発展への提言	△	△
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	△	△
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	△	▲
	新型コロナ感染症対策（人的支援･町内経済支援）	△	△
	B 級グルメ等、福島町の良さの PR 強化	△	△
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△
教育	福島商業高等学校存続対策	○	○
	文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	△	△
その他	今後の「道の駅」のあり方	△	△
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言	△	△
	松前半島高規格道路整備の推進	△	▲
	観光客を増やすためのＰＲ（岩部クルーズ・両記念館等）	○	△
	インターネットを使っての報告［YouTube、X（Twitter）、Zoom］	○	○

杉　村　志　朗

75歳　議員歴24年　７項目

分野	具体的な項目	評価 取組	評価 成果
行政	防災危機管理の訓練	○	△
財政	無理のない基金の活用	○	△
経済	スルメ加工者の高齢化対策	○	○
	養殖アワビ飼育の安定営業	○	○
福祉	少子化対策と高齢者医療の推進	○	△
教育	令和６年度高校入学者の増に期待	○	△
その他	運転免許返納者への対応	△	△

佐　藤　孝　男

77歳　議員歴36年　14項目

分野	具体的な項目	評価 取組	評価 成果
行政	若者の定住と雇用の場の推進	△	▲
	大型公共施設の健全な運営を注視（吉岡温泉、種苗センター）	○	○
財政	財政調整基金の健全な運用	○	△
経済	陸上養殖アワビの生産拡大	△	▲
	一次産業の振興と新規就業者の育成	△	△
	ほだ木の確保のため町有林調査と作業路の整備	○	△
福祉	町立診療所の健全運営	△	▲
	予防医療の推進	△	▲
教育	学校給食での地場産物利用強化	○	△
	食育の取組み、体験学習の推進	△	△
	高校の町外からの受け入れ強化	○	○
その他	第２青函トンネルの実現に向けての推進	○	○
	松前半島道路（防災道路）の推進	△	△
	各種行事の積極的参加	○	○

平　野　隆　雄

75歳　議員歴28年　15項目

分野	具体的な項目	評価 取組	評価 成果
行政	第２青函トンネル構想推進の実現へ	○	△
	岩部クルーズ等の活性化による交流人口増	○	△
	福島 (松浦)、松前 (荒谷) 間の新ルート防災道路の推進	○	△
財政	ふるさと応援基金の活用	○	△
	町立診療所の健全経営実現へ	○	△
	旧改善センター、旧吉岡支所等の早期解体の実現へ	○	▲
経済	養殖コンブ製品増の推進	○	△
	スルメ加工品以外の商品開発推進	○	△
	エゾアワビの稚貝を全力で確保	○	△
福祉	超高齢化と超人口減少に対するまちづくり提言	○	▲
	吉岡温泉ゆとらぎ館オープン後の提言	○	○
	がん検診の検診率向上推進	○	▲
教育	少子化の中の教育行政推進	○	▲
	縄文土器等による町づくり提言	○	△
その他	両記念館、伊能忠敬公園の観光客に向けたＰＲを推進	○	△

■小　鹿　昭　義

71歳　議員歴４年　13項目

分野	具体的な項目	評価 取組	評価 成果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	△	△
	第２青函トンネルの構想実現	○	△
	新しい風を吹き込み、安全安心で安定したまちを構築し、町民と共に未来に向かうまちづくりへの提言	△	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	△	▲
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	△	△
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	△	△
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進	○	△
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言	△	△
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応えていく仕組みの確立化を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	▲
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言	△	△
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	▲
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか」を見極め、課題に取り組む	○	△

■平　沼　昌　平

68歳　議員歴19年　14項目

分野	具体的な項目	評価 取組	評価 成果
行政	ＩＴ環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進	△	△
	第２青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動	○	△
	防災対策の対応と危機管理の熟成を提言（避難路確保、避難備蓄庫等）	○	△
財政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言	○	△
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言	△	△
経済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実	△	△
	移住促進に向けた対応と地元町民の理解による協力体制への提言	△	▲
福祉	高齢者再雇用に向けた対応と地元町民の理解による協力体制への提言	▲	▲
	ウィズコロナの対応に向けた生活環境の取組の提言	△	△
	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言	△	△
教育	福島商業高校存続のための生徒確保に向けた取組と提言	△	▲
	小・中・高一貫校に向けた町独自の教育体系	○	△
その他	議会議員の魅力化と議会活動の見える化に向けた取組	○	△
	女性議員・若者議員のなり手確保のための議会改革	▲	▲

■溝　部　幸　基

76歳　議員歴42年　34項目

分野	具体的な項目	評価 取組	評価 成果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）	△	▲
	自律、協働の「小規模多機能自治」を調査	▲	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）	▲	▲
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）	▲	▲
	過疎自治体における政策推進のあり方	△	▲
	浄化槽（下水道整備）の普及推進	▲	▲
	第２青函トンネル構想実現活動の推進	○	△
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究	△	▲
財政	財政健全化への取組（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	各団体補助金、事業助成金等のあり方	▲	▲
経済	起業に挑戦できる支援システムの創設	▲	▲
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）	▲	▲
	地場産品の６次産業化に関する調査研修	▲	▲
	産業団体と課題に取組む産業公社的仕組みづくりの調査研修	▲	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	▲	▲
福祉	過疎自治体における超高齢化対策調査	▲	▲
	全町的な「健康な町づくり」で医療費の節減	▲	▲
	公立診療所のあり方に関する調査研修	▲	▲
	在宅介護支援体制の整備（社会福祉協議会の役割）	△	▲
	労働者協同組合に関する調査研究（活動事例、行政連携）	△	▲
	家庭ごみ等減量対策、具現化の調査研修	○	▲
	小中学校一貫教育、コミュニティースクールの調査研修	▲	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集・研修）	△	▲
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でる」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
	食育・地産地消の推進（食育基本計画→情報周知・実践計画・研修）	△	△
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知）	○	△
	活発な討議（討論）ができる議会の実現	○	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○
	視察の積極的な受け入れ	○	○

■木　村　　隆

44歳　議員歴16年　９項目

分野	具体的な項目	評価 取組	評価 成果
行政	総合計画６次への提案、提言	○	○
	当町の脱炭素政策の具体的な方向性	○	△
財政	大型公共施設完成後の財政運営の注視	○	△
経済	コロナ５類移行後の経済循環政策	△	△
	昆布養殖作業効率向上政策	○	△
教育	義務教育予算の確保（教科担任制など）	○	○
	高校入学生徒のＰＲ	○	○
その他	松前半島道路（防災道路）計画の遂行	○	○
	第二青函トンネルの機運向上政策	△	△

■熊　野　茂　夫

74歳　議員歴８年　４項目

分野	具体的な項目	評価 取組	評価 成果
行政	健全で持続可能な財政運営への提言をいたします	○	○
財政	こども園、小・中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします	○	○
教育	福島商業高等学校存続のために活動いたします	○	○
その他	地域の生活環境の改善・整備について行政へ提言してまいります	○	○

「議員」の目標（公約）

目標期間：令和６年４月～令和７年３月

今年１年こんな事を頑張ります！

藤　山　　大

49歳　議員歴11年　22項目

分野	具体的な項目
行政	第２青函トンネル構想推進
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進
	災害の備えと整備（避難路・道路等）
	ＳＮＳの活用
財政	優先順位を持った財政運営の推進
	町立診療所健全経営推進
経済	一次産業のさらなる発展への提言
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言
	農業者へのやさしい対応と後継者育成
	Ｂ級グルメ等福島町の良さのＰＲ強化
	ＳＮＳの活用（ＰＲ等）
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
教育	福島商業高校の魅力化について
	文化・伝統を後世に残すための取組（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）
	ＳＮＳの活用
その他	今後の「道の駅」のあり方
	各種行事への積極的な参加
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言
	松前半島高規格道路整備の推進
	観光客を増やすためのＰＲ（岩部クルーズ・両記念館等）
	インターネットを使っての報告（YouTube、Twitter、Zoom）

杉　村　志　朗

75歳　議員歴25年　11項目

分野	具体的な項目
行政	第２青函トンネル構想の更なる推進
	町立診療所健全経営の確立
財政	財政基金の安定活用
	各団体等の補助金、助成金の確立
経済	町内スポーツ施設利用者増の取組を推進
	スルメ加工以外の二次産業の推進
福祉	社会福祉協議会の安定経営
	人口増に期待する少子化対策
教育	文化や伝統の継承
	冬期間のスポーツ、文化の推進
その他	リニューアルした道の駅の今後のあり方

佐　藤　孝　男

77歳　議員歴29年　15項目

分野	具体的な項目
行政	若者の定住と雇用の場の推進
	大型公共施設の健全な運営を注視
財政	財政調整基金の健全な活用
経済	一次産業の振興と新規就業者の育成
	ほだ木確保のため町有林の調査と作業道の整備
	陸上養殖アワビの生産拡大に向けた取組推進
福祉	町立診療所健全運営を注視
	予防医療の推進（がん検診向上）
	家庭ごみ減量化の取組推進
教育	青少年交流センター取組推進
	学校給食での地場産物利用強化の取組推進
その他	第二青函トンネル構想実現に向けた推進
	松前半島道路（防災道路）早期実現に向けた取組推進
	冬期防災訓練実施に向けた取組推進
	各種行事の積極的な参加

小　鹿　昭　義

71歳　議員歴４年　16項目

分野	具体的な項目
行政	第二青函トンネルの構想実現
	ヒグマなどの鳥獣被害対策、空き家対策への提言
	地域課題に対し、調査や意見を伺い、町民が安心・安全に住めるまちづくりの構築
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進
	経費全体についての見直しを行い、適切な予算編成を提言
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業振興の更なる推進
	円安による物価高に対する、町民への経済支援を提言
	新卒者や町内外の求職者雇用の場を確保するため、企業誘致を推進
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応えていく仕組みの確率化を推進
	お年寄りを支援する施設や、民間企業への経営支援を推進
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進
教育	小・中学生へパソコン・タブレット端末を使った英会話オンライン授業など、資格取得やグローバル化に向けた学習の提言
	グローバル化に向けた低学年向けのやさしい英会話教育の場の提言
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
その他	町議、町職員と共に話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか」を町民の目線に立ちながら見極め、課題に取り組む

平　沼　昌　平

68歳　議員歴19年　19項目

分野	具体的な項目
行政	IT 環境の整備促進と移住定住環境の整備促進
	防災対策の対応と危機管理の熟成を提言（避難路確保、避難備蓄庫等）
	第２青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動
財政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言
	財政健全化（予算審査、決算審査）に向けた取組と提言
経済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実
	地元企業が率先して高齢者再雇用を行う環境づくりに向けた取組と企業財政支援等検討
	気候変動から来る新たな産業創出と対応の取組
福祉	高齢化人口に対する福祉環境の充実と介護人材の創出
	在宅介護の抜本的な取り組みと支援体制のあり方の提言
	ゴミ減量化に対する町民意識向上と理解・方策の提言
教育	小中一貫教育に対する方向性と教育環境の充実
	小中高校生の行政・議会に対する認知度 (理解) の向上と交流
	IT 環境の充実と脱炭素社会形成の理解とグローバル人材の育成
その他	議会議員の個々の議会活動の見える化に関する取組と今後のあり方
	町民に対しての斬新な議会だよりの作成と議会活動報告の充実
	時期改選期に向けた新たな議員定数と報酬、なり手対策、女性議員の選出に向けての町民理解度を上げる対応
	地場産業の充実と観光事業等の取組の提言と町民対話の充実

木　村　　隆

44歳　議員歴17年　11項目

分野	具体的な項目
行政	人口減少に伴う少子化との付き合い方
	半島振興法に伴う政策
	防災対策と危機管理のあり方
経済	ブルーカーボンの方向性の注視
	陸上アワビ稚貝の確保に向けた取組
福祉	保育士の確保に向けた取組
	国保統一化に向けた提言
教育	部活動の地域移行に向けた取組
	青少年交流センターを中心とした高校のあり方
その他	渡島西部広域事務組合議会議員として消防、衛生の今後のあり方
	第二青函トンネル構想の機運向上政策

熊　野　茂　夫

74歳　議員歴８年　４項目

分野	具体的な項目
行政	地域生活環境整備への提言をいたします
財政	健全で持続可能な財政運営への提言をいたします
経済	昆布養殖等、水産業の発展と漁家経営安定のための提言をいたします
	農林業の発展への提言をいたします
福祉	施設介護、訪問介護のサービス安定のための提言をいたします
教育	こども園、小中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします
	福島商業高等学校魅力化と存続のための活動をいたします

平　野　隆　雄

75歳　議員歴28年　17項目

分野	具体的な項目
行政	第２青函トンネル構想実現推進
	福島川全体改修事業の早期実現
	町内景気対策と交流人口増
財政	財政調整基金の有効活用
	コロナ後の町立診療所の健全経営
	町内会にあった町内会館の新築・解体の早期実現へ
経済	養殖コンブ製品増の推進
	えぞあわび（養殖）生産増へ向けた提言
	スルメ以外の商品開発推進
福祉	高齢化と人口減少に対する町づくりの提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館の活用で健康増進へ向けた提言
教育	少子化の中の教育行政推進
	福島商業高校入学増の推進
	青少年交流センターで生徒と町民の交流推進
その他	吉岡、荒谷新ルート防災道路の推進
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進
	両記念館と伊能忠敬公園の観光客に向けたＰＲの推進

溝　部　幸　基

76歳　議員歴42年　34項目

分野	具体的な項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）
	自律、協働の「小規模多機能自治」を調査
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）
	過疎自治体における政策推進のあり方
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
	第２青函トンネル構想実現活動の推進
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究
財政	財政健全化への取組（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）
	退職手当制度の抜本的改善
	各団体等補助金、事業助成金等のあり方
経済	起業に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）
	地場産品の６次産業化に関する調査研修
	産業団体と課題に取組む産業公社的仕組みづくりの調査研修
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修
福祉	過疎自治体における超高齢化対策調査
	全町的な「健康な町づくり」で医療費の節減
	公立診療所のあり方に関する調査研修
	在宅介護支援体制の整備（社会福祉協議会の役割）
	労働者協同組合に関する調査研究（活動事例、行政連携）
	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールの調査研修
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査
	「子育て基本条例」制定に向けた取組（情報収集・研修）
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進
	食育・地産地消の推進（食育基本計画→情報周知・実践計画・研修）
その他	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知）
	活発な討議（討論）ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
	ホームページの充実 (提案、情報発信、参加型)
	各種行事への積極的な参加

「議会」の評価

令和５年度（１年間）の活動結果

議会ＨＰ

「議会活動評価要綱」に基づき、議会活動を主な10項目と具体的な40項目に区分し議会運営委員会（４月26日決定）が評価し、諮問（しもん）会議で内容を検討した結果を町民に公表します。

昨年と比べ、団体との懇談会が１段階改善されましたが、一般質問、研修の取り組みが１段階悪化しました。引き続き「町民が実感できる政策を提言する議会」、豊かな町づくりを目指して努力を続けてまいります。

評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」　△＝「一部水準に達していない」　▲＝「取組が必要」

主要評価項目	具体的な項目	過去３年間の評価			R５評価	摘　　要
		R２	R３	R４		
１．議会の活性度	①一般質問（人数・項目件数）	△	△	○	△	13人・14項目。前年度から２人、２件の減。平均質問者数3.3人（36.7%）(全国6.2人（54.1%）、全道4.5人（42.8%）、渡島管内4.4人（39.6%))
	②質疑・意見交換	○	○	○	○	常任委員会所管事務調査数22件（総務教育７件、経済福祉15件)。質疑平均：定例５人 11.5回、定例外1.7人 3.3回、委員会4.6人 25.6回　意見交換平均：定例2.8人 6.8回、定例外0.7人 1.3回、委員会4.1人 16.8回
	③討議・討論（本会議）	△	△	△	△	常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないが、引き続き論点・争点を明らかにした討議・討論への取組みが必要。(討議；Ｒ４＝０件、Ｒ５＝１件、討論；Ｒ４＝０件、Ｒ５＝１件)
	④討議（委員会）	○	○	○	○	Ｒ５開催日数：常任委員会＝17日、特別委員会＝９日
	⑤議員提案	○	○	○	○	所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されている。一般質問項目、「町民と議員懇談会」意見についても常任委員会で検討したが、所管調査として取組む事案はなかった。
	⑥文書質問	△	△	▲	▲	実績は１人・１項目。これまでも質問が特定の議員に偏り、項目数も低下していることから、政策提案等に向けた文書質問への取組みが必要。（Ｒ３＝１人・２項目、Ｒ４＝０人、Ｒ５＝１人・１項目）
２．議会の公開度	①会議の公開	○	○	○	○	本年度も100%公開し、委員会もライブ中継・録画配信を行っている。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ＨＰで全て公開している。
	③審議前会議資料の公開	○	○	○	○	基本的に全て公開している。（議場・ＨＰ）
	④議会経費の公開	○	○	○	○	全て議会だより・ＨＰで公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議・ＨＰで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継・録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実（ライブ中継）	○	○	○	○	適宜、配信機器の更新を実施し、映像配信を行っている。スマートフォンでの視聴も可能となっている。　全道＝91議会（議会中継実施）
３．議会の報告度	①議会だより・速報版等の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。R5.8月発行分から、より詳細な情報を伝えるため記事にＱＲコードを添付、議会ＨＰとの連動も進めている。全道＝単独発行125議会
	②議会ＨＰの運用	○	○	○	○	H28年３月に議会ＨＰをリニューアル。Ｒ５年度にはの反応速度を上げる為の改修を行った。引き続き、迅速な公開に努める。　全道ＨＰ＝133議会
４．住民参加度	①各種団体との懇談会の開催（常任委員会の活動）	△	○	△	○	町内団体の状況について、現状を把握するため懇談会を開催した。 [懇談会：Ｒ３＝９回、Ｒ４＝０回、Ｒ５＝４回]
	②町民と議員との懇談会の開催（議会報告会）	○	○	○	○	Ｒ５も議員を３班に分け町内会単位で実施した。17会場のうち２会場で参加者０人となったため、Ｒ６年度の開催に当たっては懇談会の内容について開催方法も含めて検討することとしている。（Ｒ４延期分＝６日間・17会場86人、Ｒ５＝６日間・17会場99人）全道＝45議会
	③参画者への対応と参加度	△	△	△	△	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題。 （Ｒ４＝定例15人、平均3.8人　定例外３人、平均0.4人） （Ｒ５＝定例14人、平均3.5人　定例外16人、平均1.8人） （全道平均＝定例7.3人、定例外4.0人）
	④休日・夜間議会の開催	○	○	○	○	H19から夜間議会（定例）を開催。 （参画者Ｒ４＝６人、Ｒ５＝３人）全道＝夜間２議会、休日３議会

主要評価項目	具体的な項目	過去３年間の評価 R２	R３	R４	R５評価	摘　　要
５．議会の民主度	①一般質問の改善（一問一答方式、回数・時間制限廃止）	○	○	○	○	一問一答方式を実施（H12）。質問回数・時間の制限規定を廃止（H20）。全道＝117議会（一問一答方式採用）
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施（Ｈ６）。　全道＝132議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済（H13.9）。質問に関する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるよう改善に努めている。
	④議会における選挙の改善（正副議長選挙での所信表明）	／	○	○	○	正副議長選出の際の所信表明を議会基本条例（H20）で規定している。
６．議会の監視度	①長との適正な関係の維持（議員の政治倫理に関する取り組みの経過）	○	○	○	○	議会議員の不当要求行為等防止条例を制定（H20）、条例内容を拡充した議会議員政治倫理条例を制定（H30）、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会権能（けん制・批判・監視等）の適切な遂行	○	○	○	○	定例会毎に議会運営等の反省点等を文書にまとめ、行政側に手交し説明している。常任委員会所管事務調査の調査意見を行政側に手交し説明、意見交換することで委員会の意向が政策に反映されている。
	④一般質問等答弁事項の追跡調査	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。（追跡調査件数　Ｒ３＝４件、Ｒ４＝１件、Ｒ５＝２件）
７．議会の専門度	①所管事務調査の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめ、政策に反映されるよう、調査意見を行政側に手交し説明、意見交換している。〔調査件数 Ｒ４＝31件、Ｒ５＝22件〕
	②政策立案・審議能力の向上強化	○	○	○	○	各常任委員会所管事務調査にて、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言。 ・商業高校の魅力化　・社会福祉協議会の運営 ・有害鳥獣減容化処理施設の管理　・家庭ごみ減量化対策　等 令和４年度決算に基づき67件（総務教育常任委関連39件、経済福祉常任委関係28件）の事業について行政評価をした。 第６次総合計画策定に係る特別委員会を設置、構想から実施計画まで4回開催し意見を提言している。
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実に繋がっている。継続的に見直しを行っており現在の議決対象計画等は13件となっている。
８．事務局の充実度	①議場等の整備充実	○	○	○	○	議場映像設備（Ｒ元）、議場等音響設備（H28）の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。タブレット端末の導入（Ｒ３）により議案等のペーパーレス化も図られている。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、情報・資料収集の充実、法務能力の向上に取り組んでいる。職員体制は正職員３人、会計年度任用職員１人で充実。
９．適正な議会機能	①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、都市計画審議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定。令和４年度からはペーパーレス会議システム費用を追加したため、令和５年度に見直している。（当初標準額＝3,184千円・Ｒ５見直し標準額＝6,148千円、Ｒ５予算 5,695千円）
	③議会の自主性強化（条例等制定・改正）	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。平成21年度より年度を会期（期間）とした「通年議会」を実施している。議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、平成30年度に全体的にわかりやすく改正、新たに２条例・７要綱を制定（議会参画条例・政治倫理条例等）
	④議会付属機関の設置（議会基本条例諮問会議）	○	○	○	○	議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。諮問会議条例の改正（Ｒ４.１）；諮問委員数を５名から10名に増員。
	⑤系統議長会の体制整備	○	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。（資料提供、道内の町村議会へのリンク等）
	⑥条例の制定・改正	／	○	○	○	議会議員歳費・費用弁償等条例の一部改正（６月、11月会議）改選期に向け議員のなり手不足対策として歳費月額を増額した。 期末手当支給月数も町特別職に合わせて改正した。
10．研修活動の充実強化	①研修の効率的な取組み	△	△	○	△	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認。議員研修会の報告をし、情報共有を図っている。Ｒ５年度は改選期で、下半期に常任委員会等が集中したため、政務活動費を活用した議員の視察等は行わなかった。
	②視察受入れ市町村等	／	○	○	○	受入数５件。宮城県仙南・亘理地方町議会議長会、岩手県八幡平市議会、北海道美瑛町議会、佐賀県三養基郡町村議会議長会、熊本県多良木町議会から 議会改革等について視察を受け入れた。（Ｒ３＝０件、Ｒ４＝５件、Ｒ５＝５件）

議会評価に対する諮問（しもん）会議意見

議会運営委員会による議会評価についてはおおむね適正であると判断するが、議会評価の項目や摘要欄には専門用語が多用され理解しづらく、議会の仕組みや役割について町民によく理解されていない部分が多いと思われることから、わかりやすい表現を用いて広く周知するよう努められたい。

町民と議員との懇談会

議会HP

ご参加ありがとうございました！

「町民と議員との懇談会」は、町民に対する説明責任を果たし、情報を共有するため毎年開催しています。

令和６年２月２日～１３日までの６日間、17 会場で開催しましたので、その概要を報告します。

参加状況

全 17 会場：合計 99 人
1会場の最大出席者数 12 人
※2会場で参加者0人

開催時期や、時間帯の変更等、参加者を増やすための工夫が必要では？という意見がありました。

中心となった話題

○議員のなり手不足
○働く場の確保
○防災対策
○福島商業高校の状況

能登半島地震の影響か、防災や避難経路に関する話題が多く出されていました。

議会関係

○議員のなり手不足
・候補者を議員自ら育てる必要があるのでは

○議員の能力向上
・町民の期待に応えられるように、議員自身が政策を作り町へ提案してほしい

○議会だより
・掲載する文章に一定の制限が必要では

産業関係

○雇用創出
・働く場所が少ないことが地元定住を進めるための課題

○漁業
・海水温が昆布へ与える影響が心配

○農業
・漁業に対して農業関係の予算規模が小さい。バランスよく支援する必要があるのでは

防災関係

○避難路
・高齢者が多く、現在の避難路を使うことは難しい

○避難計画
・町内会ごとに抱える問題が違うので、町内会も交えて計画を立ててほしい

○避難訓練
・町内会単位で実施できれば良いが、単独での実施は難しい

教育関係

○高校の状況
・入学者の大幅増は喜ばしい
・地域ならではの体験をさせたい

○子供たちの進路
・地元での就職先の確保や進学者への支援が必要

○新潮学舎の増築
・生徒が増える分、町の負担が増える。継続的に支援するため、十分注意が必要

観光関係

○道の駅の状況

・最近は見かけなくなったが、現在の状況は

福祉関係

○新しい吉岡温泉

・オープンを楽しみにしている

・木質チップはどこから仕入れるのか

衛生関係

○ごみの排出量

・町民の意識を変える必要がある

・町のＰＲが町民に浸透していない

第2青函トンネル関係

○構想の進捗状況

・北海道知事に要望したと聞いたが、現在の手応えは

議員歳費・定数関係

○議員定数

・人口減少に伴い減らす方向になるのでは

・減らしすぎると偏った意見しか反映されなくなるのでは

○議員歳費

・新しい立候補がなかったから歳費を上げても効果がない

・議員歳費だけで生活できなければ立候補できないのでは

その他

○職員の確保

・近年中途退職者が続いているが、大丈夫なのか

2日 松浦、吉野 館崎1･2･3 豊浜、宮歌

豊浜・宮歌

5日 吉岡1･2･3 緑町 上町、本町、川原町

緑町

6日 日向1･2･3 吉田町、館古 月崎１

日向

7日 月崎２ 丸山団地 塩釜、浦和、岩部

月崎2

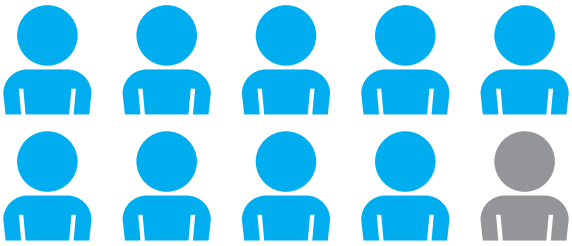
9日 白符 新栄町

新栄町

13日 三岳１ 三岳２ 千軒

三岳2

初の無投票
定数割れ



議員になってください！
と言われても…

「本業が忙しくて議員はできない」
「議員一本では生活できない」
「議員をやれるほどの知識がない」
「落選するのが怖い」

やります！とは
言えない…のが**本音**ですよね

若者 女性 無

無投票関心

でも、ふと思ったことはありませんか？

- こんなことをやってほしい
- どうしてそんなことをするの…？
- 私たちの年代の声を聞いてほしい
- 私たちの職業の声を届けたい

など

周りに同じような**思い**を抱えている人はいませんか？

そんな人たちの「代表」に、なってみませんか？

新たな立候補者後押しするため

令和8年9月までの決定を目標に、全議員で検討を進めています。状況は議会だよりで連載していきます。

町民の声

1年で変化した事

福島商業高校
髙橋（たかはし）　豊奈（ひろな）

私がこの1年で大きく成長したと思うことは、人の前に立って何か発言することや発表することです。

1年前や中学生の頃の私は、自分の中で生徒会に入ってみたい、何かみんなと1つの物を作りたいと思っていても、それを言葉として口に出すことが苦手でした。

しかし、この1年を通して多くのことを経験しました。

行事の司会者や有志としての活動などを繰り返していく内に自然と自分の考えや意見を人前で言うことができるようになりました。

そして、今年はもっと何か新しいことにチャレンジして1年後さらに成長したいと思っています。

議員の雑感

地域の喜び

経済福祉常任委員
佐藤　孝男

過疎化を食い止めることは我々町民の願いであります。

16年前、道新の社説に、限界集落の記事が載っておりました。過疎と高齢化で地域が追い込まれているというものでしたが、『限界集落だから何もできないのではなく、福島町では「千軒そば」や「殿様探訪ウォーク」など、逆境をはね返す取り組みを続けている』とも書いておりました。

千軒での取り組みは、多くの方々の協力を得て、長年継続できております。

嬉しい事に千軒地区では若い方が定住し、入学前の子供さんが3人増えました。

子供たちから地域の皆が元気をもらっています。人が増える喜びを町民の皆様と共にこれからも考えていきたいと思っております。

主な会議・行事予定

6月

- **渡島町村議長会研修会**
  10日(月)　札幌市
- **北海道町村議長会定期総会**
  11日(火)　札幌市
- **一般質問通告**
  13日(木)　午前10時～～午後2時　議員控室
- **議会運営委員会（6月会議の運営）**
  13日(木)　午後3時～　委員会室
- **議員勉強会**
  18日(火)　午後1時30分～　議員控室
- **定例会6月会議**
  20日(木)～21日(金)　議会議場

7月

- **全道町村議会議員研修会**
  2日(火)　札幌市

編集後記

例年よりも早く桜前線が到来し、あっという間に季節が移り変わっていきます。今年こそは過ごしやすい夏であることを祈るばかりです。

今回から議員のなり手不足対策として特集記事を掲載しています。無投票・定数割れという事態を受け、議会と町民が一緒に議会について考えていくためにも、今まで以上に積極的な情報提供を行ってまいります。

お気づきの点がありましたら、お気軽に議員または議会事務局にご連絡ください。

8月発行の「議会だよりふくしま」では、定例会6月会議を中心に紹介する予定です。

北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」